

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成も可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. 143

エントリー学校名： 兵庫県 伊丹市立鴻池小学校

活動名： ビジョンの明確化と共有 ～チームで戦略的なアプローチ～

解決すべき課題：
 本校では、教員同士協力的に熱意をもって教育活動を展開している。しかし、それらの教育活動について、前年度踏襲として目的の共有が十分ではないことがあり、長期的な見通しではない戦術的な教育活動が展開されている傾向が見受けられる。その背景には、学校教育目標や研究目標などが、不易で抽象的な文言であるために、教員一人ひとりの参画意識が持ちにくいことや、学力低位、問題行動、不登校の子どもの対応に追われ、対症療法的な目的をもとに教育活動を行わざるを得ない現状が考えられる。また、学習への目的意識が持たず、受け身になっている子どもの姿も少なくない。そこで、教員集団として、ポジティブかつ戦略的に教育活動を行っていきけるように、広島大学教授の曾余田浩史氏のマネジメントの基本モデルをもとに、「どこを目指すのか」というビジョンを明確化したいと考えた。そして、カリキュラムマネジメントだけでなく、日々の教育活動で、そのビジョンを共有することで、チームとして戦略的な取組につなげたい。また、授業実践においても、教員と児童とで学習におけるビジョンを明確化し共有する取組も行いたいと考えた。

目標・方針：
 (1)「ビジョン」を明確にしたカリキュラムマネジメント研修を通して、中長期的な指導計画を教員間で共有する。
 (2)「ビジョン」を見える化し、随時照合・更新する仕組みを構築することで PDCA サイクルを活性化させる。
 (3)「ビジョン」を子どもたちがもてるような単元開発を行い、授業実践を行う。

活動内容：
 (1)校内研修の実施 研究担当・教育課程担当が連携し、カリキュラムマネジメント研修を実施した。
 ①ビジョンの重要性の共有 ②各学年めざす子ども像の協議・設定 ③教科横断的な単元開発
 (2)校内研修のまとめを職員室内に掲示し、日々の教育活動の中で確認できるようにした。
 (3)校内研修で協議した単元開発をもとに、子どもたちの目的意識を大切に授業実践を行った。

活動の成果：
 ○ビジョンを明確化することの重要性が共有できた。(表1)
 ○「強み」の視点共有と、学年末にめざす子ども像(ビジョン)の協議・共有ができた。(写真2)
 ○校内研修のまとめを掲示したことにより、日々の教育活動でビジョンの意識をもつことができた。(写真4)
 ○教育課程担当と研究担当とが連携して、子どもたちの目的意識(ビジョン)を大切に授業実践の単元開発・授業実践ができた。(図3. 写真3. 5. 6. 7)

アピールポイント(アイデアや工夫)：
 ○校内研修でのビジョンに関するプレゼンで、教員間での話題・企業の経営理念等の例示をしたこと(図1)
 ○校内研修で協議するビジョンを、各学年のめざす子ども像に焦点化したこと(図2)
 ○各学年のカリキュラムマネジメントで協議する際に、一単元以上の実践を前提としたこと
 ○各学年のめざす子ども像と年間カリキュラムをセットで見える化したこと(写真4)
 ○授業実践(6年)の中で、教科横断的な単元の冒頭に、子どもたちとビジョン(卒業制作の発表)を共有したこと(写真5. 6. 7)

(1) 校内研修

① ビジョンの重要性の共有

図1. ビジョンの例示(職員の趣味)

② 協議するビジョンの焦点化

図2. 協議するビジョンの焦点化

回答	回答数	割合
ア とても大切だと思った	14	58%
イ 大切だと思った	9	38%
ウ あまり大切ではないと思った	1	4%
エ 全然大切ではないと思った	0	0%

表1. 参加者のアンケート

②めざす子ども像の設定

写真2. 各学年が設定しためざす子ども像(2年、4年、6年)

③教科横断的な単元開発

図3. 教科横断的な単元の例示

写真1. 学年で協議する様子

写真3. 研究担当からの説明

実践を前提

(2) まとめの掲示

写真4. 各学年のめざす子ども像(表)と年間カリキュラム(表)の掲示物

(3) 授業実践

写真5. 第6学年実践①

写真6. 第6学年実践②

写真7. 第6学年実践③

継続

令和2年度(2020年度)

図5. 鴻池小学校研究テーマのイメージ

(3) 授業実践

鴻池小学校第6学年

国語 単元名「聞いて、考えを深めよう」

算数(校内研究 公開) 単元名「比とその利用」

家庭科 単元名「朝食から健康な一日の生活を」

図4. 令和2年度の実践例